

横芝の碑 (その三)

石合寺の札所

石合の大師様という、春の桜の頃は白い帷巾風の衣をまとった遍路姿の善男善女で賑合う所です。

ここは、その昔、吉岡宗隆という人が開山したというところで、境内にはその顕彰碑が辺りを圧する様に建っています。又大師様の姿らしい僧形の立像も建っていてその台座には、南無遍生金剛、成田山貫主大僧正照定、啓書と刻まれています。

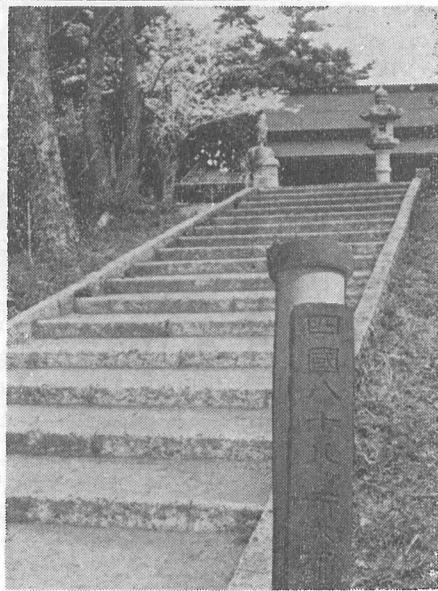
坂田の池の縁を通過して横芝方面に向い、土地改良用水路を渡るとすぐ左手に中の広い石段が見えて、その裾には四国八十八箇所大師堂と刻まれた石の柱が建っています。石段の奥には、石合山と打出さ

この大師様の建っている場所は、丁度お碗を伏せた様な丘になっていますが、松林や薄、やぶごうじ等の生い繁っている中に、所々自然の岩石が露出していたり、洞窟を造っていたりしていますが、その昔、信者の寄進によって四国八十八箇所の札所に擬え、それぞれ寺の名を刻んだ仏像をお堂を囲む様に建立し、これを遍路でできる様に路を付けたということで、これが石柱に刻まれていた八十八箇所大師の所以だということです。八十八箇所の仏像は、石段を上り終った右手に建っている第一番釈迦



如来、阿波国堅山寺から始まり、最後は石段の左奥の洞窟の中に安置されている第八十八番薬師如来、讃岐国大窪寺で終わっています。

◎写真の左上は、八十八体の中の一体で、仏像の下



の台座には正面に薬師如来、阿波国分寺と刻まれて、横には寄進者の名が刻まれています。こうした仏像が八十八基綴在しているのです。この取材中、念仏講の或おばあさんに出会い、こんな話を聞きました。「この仏像は私のおふくろも納めた仲間ですよ、八十八箇所というのはお大師様が四国でご遍路なさったお寺で、阿波(徳島)で二三、讃岐(香川)で二三、土佐(高知)で一六、伊予(愛媛)で二六、これで八十八になりま



飲酒運転追放

冬の交通事故防止運動始る

これから冬に向い一番心配されるのが飲酒運転による事故です。さらに物資の需要の増大による自動車交通量の激増。加えて季節柄、歩行者の気ぜわしさによる道路への飛び出し、無理な道路横断による事故の増加が予想されます。そこで県では、きたる十二月十一日から明年一月十日までの一ヶ月間、飲酒運転の追放と歩行者とくに子どもと老人の事故防止を重点に「冬の交通事故防止運動」を展開し、われわれの生活を脅かす交通事故の防止を徹底することとされています。

飲酒運転による事故は、昨年一応減少をみたものの、本年に入って急激に増加し、九月末日現在ではすでに五十九人の死者を数え昨年一年間の六十九人にせまる勢いです。これから飲酒の機会が多くなる年末年始を迎えるにあたり飲酒運転に対する厳しい姿勢と事故責任の重大性を深く認識し、住民一人一人の飲酒運転追放に対する積極的な協力が望まれます。それには、酒を飲んだら運転しない」「運転するときは酒を飲まない」「運転手には酒をすすめない」の三ない運動を推進し、不幸な交通事故を地域ぐるみで防止しようではありませんか。

みんなの善意で 明るい正月を

みなさん十二月は、歳末たすけあい運動の月です。この運動は十月一日から十二月三十一日までの三ヶ月にわたって行なわれる共同募金の一環として十二月に重点的に行なわれております。恵まれない方々に愛の手をさしのべ、みんななそろうって明るい正月を迎えることのできるよう、ぜひこの運動にご協力下さい。

近々婦人会役員の方々が伺いいたしますのでよろしくお願いたします。